

夢と志をもち、自ら学び、共によりよく生きようとする砥川っ子



砥川っ子だより



砥川小学校

第 7 号

令和5年5月23日

文責 校長 高山 健

『みんなであきらめず 協力し合い 最後まで全力を出しつづけて優勝を目指そう』
あたたかいご声援、ご協力ありがとうございました。

今年の運動会は、基本的な新型コロナウイルス感染症対策はするものの、さまざまな制限を解除して実施することができました。多くの方々の応援があることや、どこか抑圧されていたであろう環境が解き放たれたことで、子どもたちの姿はとてもまぶしく輝いて見えました。そしてその姿は、誇らしく思えました。

先生方の姿も同様です。運動会に向けた準備期間中は、いつも誰かが運動場で準備をしていました。いつも誰かが、子どもたちに寄り添っていました。ある日の夕方は、退勤時刻が過ぎているにも関わらず、職員総出で準備をしていました。

『ステキな運動会にしたい』という共通の目標をもち、子どもと職員が、自分のベストを尽くそうとする過程はとても美しく、尊いものだと感じました。

私はこの経験が、子どもたちにとって「砥川小学校に通ってよかった」、職員にとって「砥川小学校で働けてよかった」と思う理由のひとつになるものと確信しております。そして、保護者の皆様が「砥川小学校に通わせてよかった」と思う理由のひとつになれば嬉しいです。(*^_^*)

練習期間中は体操服の洗濯、お茶の準備、体調管理、支え励ます言葉かけ等、さまざまなご協力をいただいたことと思います。ありがとうございました。今後も、たくましくしなやかに成長していく子どもたちのためにご協力をお願いいたします。



Sports day at Togawa Elementary School 2023



学校におけるマスク着用について



佐賀県教育委員会としては、教職員や児童生徒間のコミュニケーションが円滑となり、充実した学校生活にも資することから、児童生徒のマスク着用は不要と考えています。しかし、マスクの着脱が個人の判断となった以降も、学校において、多くの児童生徒がマスクを着けているのが見受けられます。マスクを着けている児童生徒の中には、周囲の目が気になってマスクを外せない、またはこれまでの習慣でマスクを何となく着けている児童生徒がいるかもしれません。つきましては、マスクを外したい児童生徒が安心してマスクを外すことができるように、各学校において、新型コロナウイルス感染症等が流行していない平時には、「マスクを外してもいいんだよ」というメッセージを、先生方の言葉で、児童生徒に呼びかけるなど、マスクを外すことができる雰囲気づくりに努めてください。

先日、上記のような通知が届きました。砥川小の現状も同様で、ほとんどの子どもが常にマスクを着けているような状況です。今後も平時には「マスクを外してもいいんだよ」というメッセージを伝え、マスクを外すことができる雰囲気づくりに努めていきたいと思えます。ご家庭でも話題にしてください。m(_ _)m

大きく育て…



右の写真は1年生と2年生が生活科の学習で育てているアサガオとミニトマトです。子どもたちは、毎朝水をやり、その変化や成長に喜びを感じながら学んでいます。植物を育てる活動には、「育つ場所、変化、成長の様子に関心をもって働きかける」

「生命をもつ

ていることや成長していることに気付く」「親しみを持ち、大切にしようとする」といったねらいがありますが、情意的な側面への影響が大きいと感じています。ですので、子どもたちの『水をやる』『成長を喜ぶ』『花が咲いたことを伝える』『友だちと比較する』行為をみると、『子どもたちも育てている』と嬉しくなります。夏野菜の植え付けはまだ間に合いそうです。ご家庭でもどうですか…(*^_^*)

余談ですが…
 私 あらっ、また大根が大きくなったね。
 2年生 校長先生、ミニトマトです。
 私 あれっ、そうだったっけ。
 2年生 もっ、覚えてくださいよ。
 私 ごめんね、最近覚えが悪くて…
 大根をニンジンにしたり、キュウリにしたりして、このようなやりとりを毎日楽しんでます。
 先日、校長先生、メモしたらいいですよ。メモと言われました。2年生が本気で言っているのか、冗談で言っているのか…。真偽は不明ですが、2年生が成長していることだけは真実のようです…。